

(単元評価問題関連：中１－①)

「宮崎県の果樹の産出額について」

() 組	氏
() 番	名



まさこさん



マンゴー



完熟キンカン

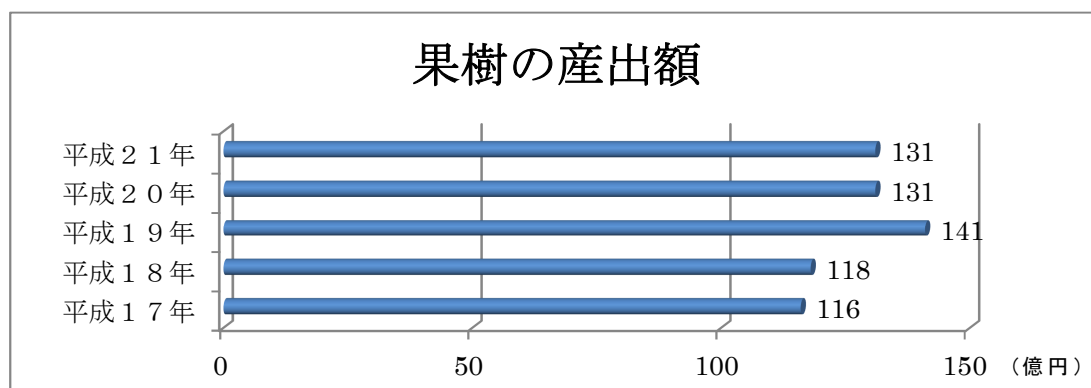


日向夏

私は、総合的な学習の時間に、宮崎県の果樹について調べました。

宮崎県の果樹農業は、温暖な気候条件を活かしたマンゴー、完熟キンカン、日向夏などが栽培され、県内全地域で果樹の産地化が進められてきました。平成21年の栽培面積は3460ha、生産量は33938t、産出額は131億円となっています。

その中で、産出額の推移について調べました。平成17年は116億円、平成18年は118億円、平成19年は141億円、平成20年は131億円、平成21年は131億円となっています。グラフに表すと下のようになります。



平成22年は147億円で、過去最高だったそうです。平成17年から平成21年までの5年間の平均と比べると、どれくらい多かったのかを調べたいと思いました。

- (1) 私は、5年間の平均を小学校で学習した平均の求め方を使って、次のように求めました。

→教科書小5年下P20, 21

$$116 + 118 + 141 + 131 + 131 = 637$$

$$637 \div \boxed{\text{ア}} = 127.4$$

5年間の平均は、127億4千万円(127.4億円)



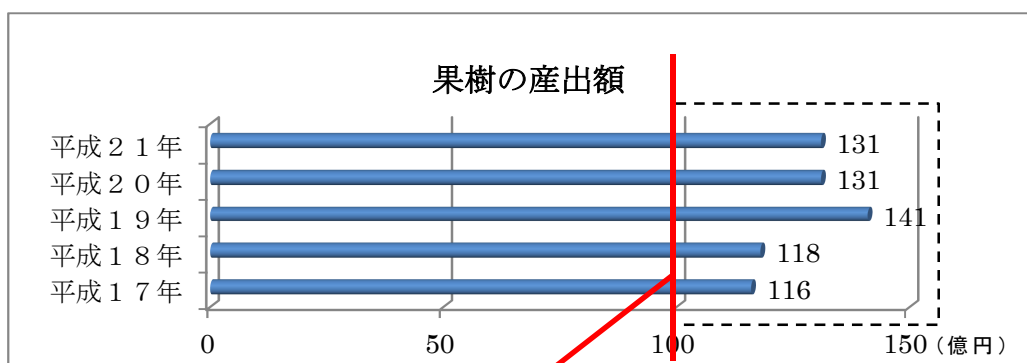
$\boxed{\text{ア}}$ に入る数を求めなさい。

全体÷個数＝平均

 $\boxed{\text{ア}}$

5

- (2) しょうたさんは、グラフを利用して次のような式をつくり、5年間の平均を求めました。どのように考えたのかを説明しなさい。 →教科書小5年下P26



116	118	141	131	131
16	18	41	31	31



私の解き方をすると、2けたのたし算で簡単だよ。

$$16 + 18 + 41 + 31 + 31 = 137$$

$$137 \div 5 = 27.4$$

$$100 + 27.4 = 127.4$$

5年間の平均は、127億4千万円

小学校第5学年の「平均とその利用」で学習した内容をもとに、仮の平均の考え方を説明する。

しょうたさんの考えた方法の説明

100億円に目をつけて、残りの16億円、18億円、41億円、31億円、31億円の平均を求めてから、それに100億円をたして平均を求めている。

① 100億円を基準にしていること

② 残りの平均を求めること

- (3) ③ それに100億円をたすこと

上記の①、②、③が書かれていますか？

表を完成させ、このあとどのようにして求めたのか、続きをかきなさい。

116	118	141	131	131
-15	-13	+10	0	0

(表の値は、131との差を求める。)

→教科書1年P16

$$-15 - 13 + 10 + 0 + 0 = -18 \quad \cdots 5年間の仮の合計$$

$$-18 \div 5 = -3.6 \quad \cdots 5年間の仮の平均$$

$$131 - 3.6 = 127.4 \quad \cdots 5年間の平均$$

5年間の平均は、127億4千万円(127.4億円)となるため、平成22年は19億6千万円(19.6億円)多くなっていることがわかりました。



私の方法で平均を求めると、けいたさんの考えた方法より、もっと簡単に5年間の平均を求めることができました。